

台風10号による二瀬ダムの稼働状況について

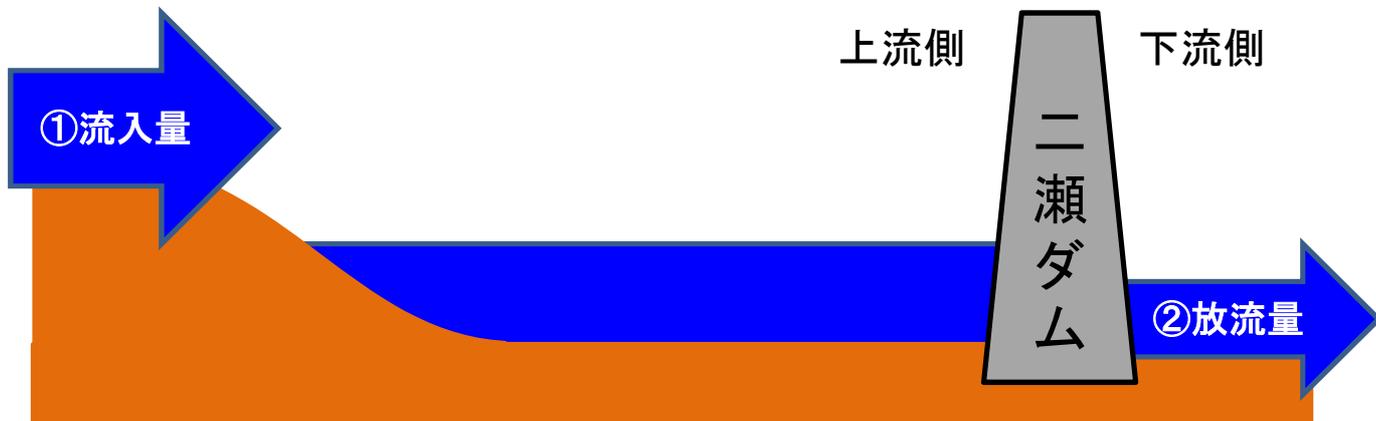
二瀬ダムに流入する河川の洪水の一部をダムに貯留して、ダム下流の荒川の水位を低下させています。

平成28年8月30日 8時現在

速報値

1. 二瀬ダムの洪水操作状況

①二瀬ダムへの流入量	毎秒	312	立方 ^{メートル}
②二瀬ダムからの放流量	毎秒	252	立方 ^{メートル}
③二瀬ダムの貯留量(1秒あたり)	毎秒	60	立方 ^{メートル}



③二瀬ダムの貯留量 = ①二瀬ダムへの流入量 - ②二瀬ダムからの放流量

図1 二瀬ダムの状況

2. 二瀬ダムにより想定されるダム下流水位の低減

二瀬ダムで貯留することにより、ダム下流から3kmにある、落合地点の現在の水位は、ダムが無いと仮定した場合の水位と比較して、**0.31m水位が低下していると想定**されます。

※「ダムが無いと仮定した場合の水位」は、当該時刻のダム地点の貯留量をダム下流の荒川落合地点の水位低減量に換算しています。

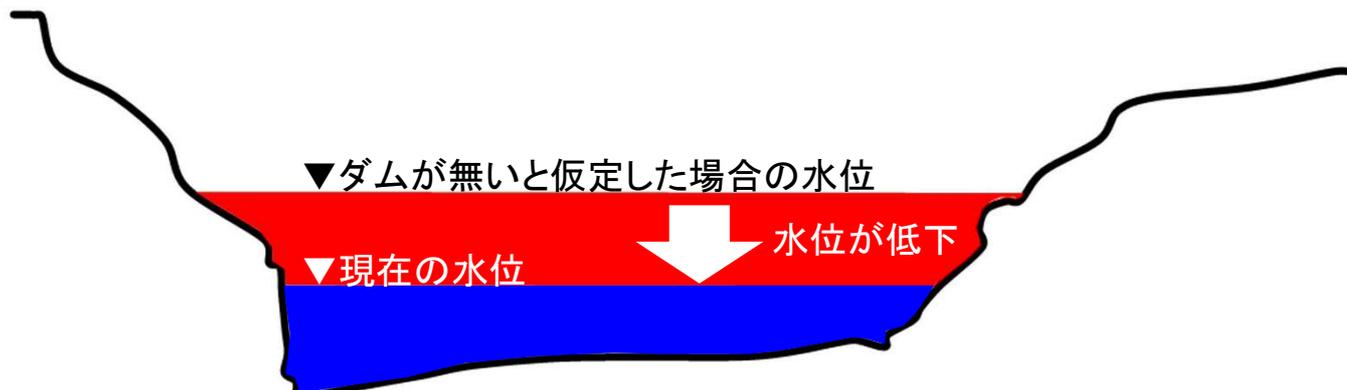


図2 二瀬ダムにより想定される水位の低減(落合地点)

※図1、図2はダムの稼働状況を説明するために模式的に表現したものであり、実際の状況とは異なります。